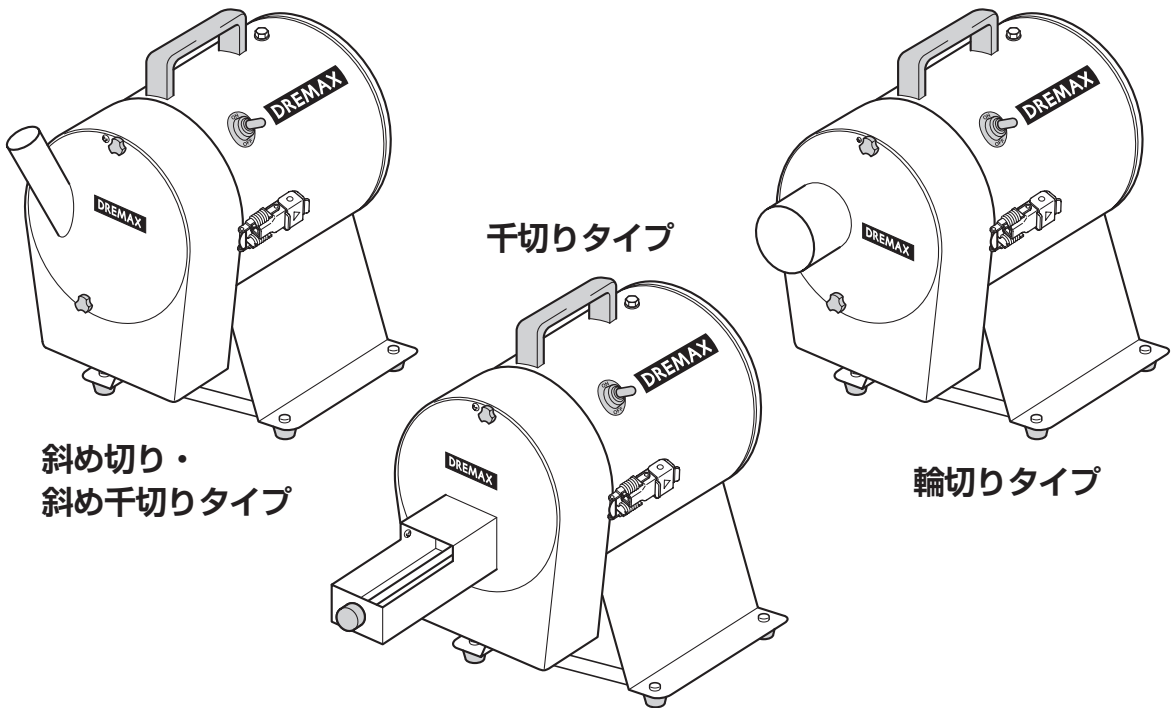


DREMAX

保証書付

マルチスライサー DX-1000

取扱説明書



警告



接触禁止

運転中は危険ですので投入口へは絶対に手を入れないでください。
けがの原因になります。[3タイプ共通の警告です]



- このたびは **DREMAX マルチスライサー DX-1000** をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- 製品を安全に正しく使用していただくためにお使いになる前にこの取扱説明書を必ずお読みになり十分にご理解ください。
- 取扱説明書はお読みになられた後、いつでもお手元においてご使用ください。
- 保証書は取扱説明書の裏表紙に記載しております。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ	3
正しい使い方	4
厚み調整のしかた (スライス仕様のみ)	9
お手入れ方法	11
丸刃・クシ刃の交換について	14
丸刃の研ぎ方	15
仕様	17
保証とアフターサービス	裏表紙
保証書	裏表紙




安全上のご注意

- ご使用になる前に内容をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- 警告・注意の指示と意味は次のようになっています。









 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。





図記号の例

 <small>刃物注意</small>	△は、注意（警告を含む）を示します。具体的な注意事項は、△の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は"刃物注意"を示します。
 <small>分解禁止</small>	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は"分解禁止"を示します。
 <small>プラグを抜く</small>	●は、強制（必ずやること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は"プラグを抜くこと"を示します。









警告

 <small>使用禁止</small>	本取扱説明書の記載内容が理解できない人は本機を使用しないでください。	事故の原因になります。
 <small>分解禁止</small>	修理技術者以外は、絶対に修理・改造をしないでください。	火災・感電・けがの原因になります。
 <small>分解禁止</small>	当社が使用者側での部品交換および修理を推奨しない箇所を、使用者側の判断により部品交換および修理をしないでください。	故障・破損・けがの原因になります。
 <small>刃物注意</small>	丸刃・クシ刃は鋭利ですので、刃先の部分には絶対に手を触れないでください。特にお手入れや、丸刃・クシ刃の交換の際には十分に注意してください。	けがの原因になります。
 <small>水濡れ禁止</small>	本体を水に浸したり、電源コードを水につけないでください。また、保護スイッチ、ON/OFF スイッチなどの電源部に水をかけないでください。	ショート・感電・故障の原因になります。
 <small>禁止</small>	運転中に各ユニットを本体からはずさないでください。	故障・破損・けがの原因になります。
 <small>接触禁止</small>	運転中は可動部に手を近づけたり、投入口には絶対に手を入れないでください。また、刃物に直接手を触れないでください。	けがの原因になります。
 <small>禁止</small>	運転中に本体を移動させないでください。	故障・破損・けがの原因になります。

⚠ 警告

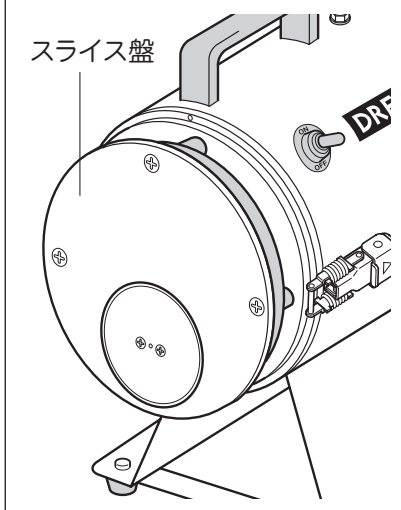
 禁止	保護スイッチを細い棒などで押さないでください。 ON/OFF スwitchが「ON」になっていた場合、回転部が作動して危険です。	けがや故障の原因になります。
 強制	必ず、作業の開始前と終了時に刃物の状態を確認してください。 特にクシ刃は鋭利な薄い刃で作られていますので、必ず刃の数を確認してください。万一、作業中に刃が欠けた場合は、カットした全ての食材を捨ててください。	けがの原因になります。
 禁止	子どもに使用させないでください。 また、機械のそばに子どもを近づけないでください。	火災・感電・けがの原因になります。
 禁止	野菜以外のものを入れて運転しないでください。	故障・破損・けがの原因になります。

⚠ 注意

 禁止	不安定な場所では使用しないでください。	機械の転倒による破損やけがの原因になります。
 強制	交流 100V (定格) 以外では使用しないでください。	火災・感電・故障の原因になります。
 禁止	電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引き抜いたり、ねじったりしないでください。また、電源コードに重い物を載せたり、挟み込んだり、ガスコンロなどの熱源に近づけたりしないでください。	電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 強制	電源プラグの抜き差しは、機械が停止していることを確認してからおこなってください。	ショート・感電・発火の原因になります。
 プラグを持つ	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。	ショートや感電して発火する恐れがあります。
 使用禁止	電源コードが傷んでいたり、電源プラグの電源コンセントへの差し込みがゆるい場合は、使用しないでください。	ショート・感電・発火の原因になります。
 強制	各ユニットの取り付け・取り外し、部品の交換およびお手入れをする際は、必ず ON/OFF スwitchを「OFF」にし、機械が停止していることを確認し、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。	けがの原因になります。
 プラグを抜く	ご使用の時以外は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。	絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

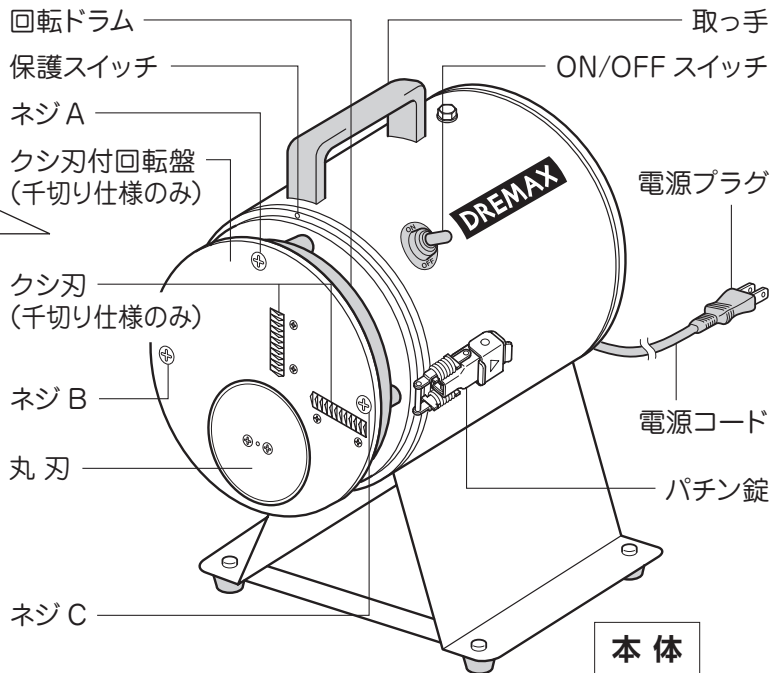
各部のなまえ

〈スライス仕様の場合〉



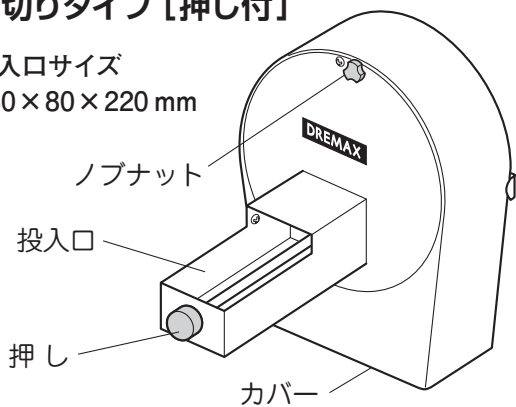
※ 初期出荷がスライス仕様の場合、クシ刃付回転盤は付いていません。

〈千切り仕様の場合〉



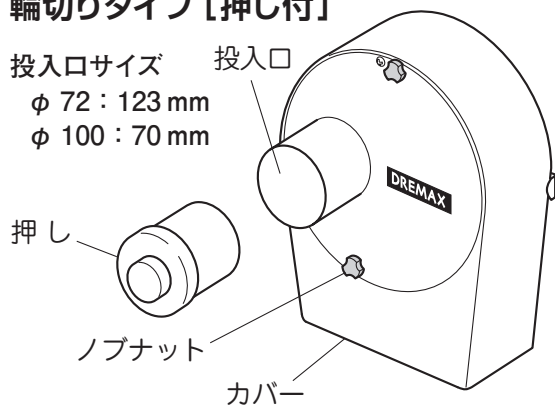
千切りタイプ [押し付]

投入口サイズ
80×80×220 mm



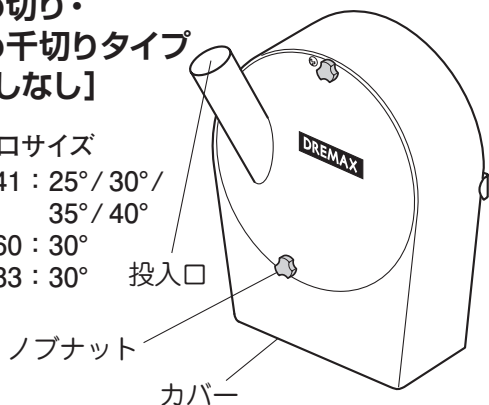
輪切りタイプ [押し付]

投入口サイズ
φ 72 : 123 mm
φ 100 : 70 mm



斜め切り・斜め千切りタイプ [押しなし]

投入口サイズ
φ 41 : 25° / 30° / 35° / 40°
φ 60 : 30°
φ 83 : 30°



投入口タイプはお客様の仕様により初期出荷が異なります。

他のタイプをご利用の場合は、オプションとなります。

回転盤 (別売オプション品)

クシ刃付回転盤 : 1.2×1.2mm・1.5×1.5mm
2.0×2.0mm・3.0×3.0mm
特注可。ご相談ください。

スライス盤

ご注文・ご相談は販売店までご連絡ください。

正しい使い方

※ 初めて本機をご使用になる場合は、必ず洗浄してからお使いください。
洗浄のしかたは「お手入れ方法」(11ページ)を参照してください。

※ 運転中に停電になったときは、電源が復旧する前に、必ず ON/OFF スイッチを「OFF」にし、復旧してから「ON」にしてください。

1 回転盤を取り付ける

◎ 千切りタイプ・斜め千切りタイプは、クシ刃付回転盤(千切り用)を取り付けてください。

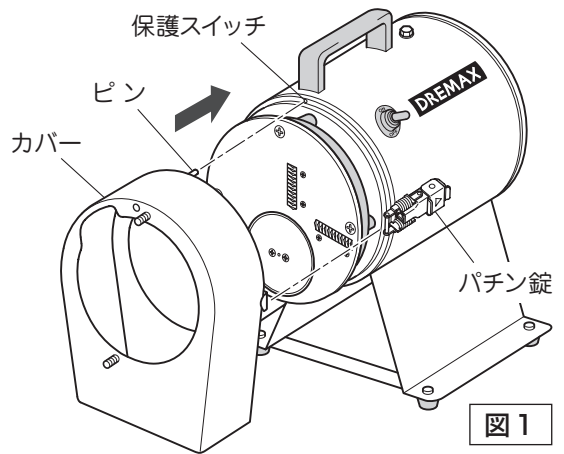
◎ 輪切りタイプ・斜め切りタイプは、スライス盤を取り付けてください。

(取り付け方はP12「お手入れ方法」→③-①②を参照してください。[逆手順])

2 本体にカバーを取り付ける

◎ 本体の保護スイッチにカバーのピンを差し込んでセットし、本体両側のパチン錠でカバーを固定してください。(図1)

(P11「お手入れ方法」→①を参照[逆手順])

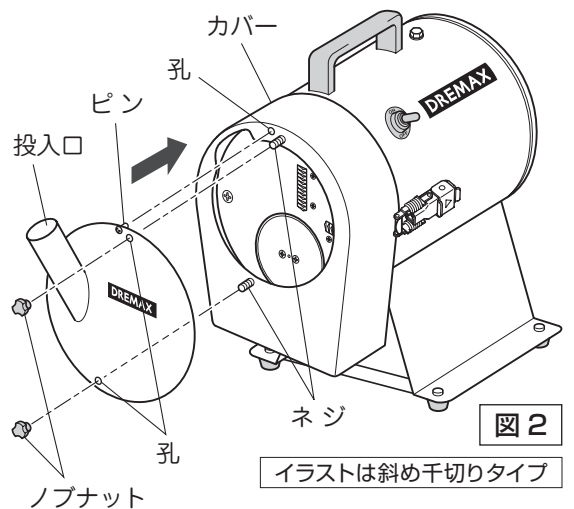


3 カバーに投入口を取り付ける

◎ カバーの上下のネジと投入口の上下の孔を合わせ、投入口のピンをカバー上部の孔に差し込んでセットし、ノブナットを取り付けて固定してください。

(図2)

◎ 投入口タイプを変える際も、同じ様にノブナット(2カ所)で取り付けてください。



4 電源プラグを電源コンセントに差し込む

❗ ON/OFF スイッチが「OFF」になっていることを確認してから差し込んでください。(図3)

警告



水濡れ禁止

濡れた手で電源プラグを差し込まないでください。感電の恐れがあります。



プラグを持つ

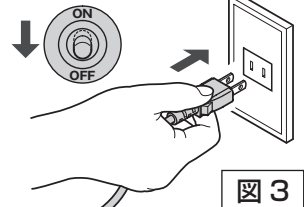
必ず、先端のプラグを持って差し込んでください。感電の恐れがあります。

※ 安全のため、保護スイッチがついています。

カバーを取り付けた状態で保護スイッチが「ON」になります。カバーを取り外した状態では保護スイッチが「OFF」になり、本体は作動しません。

※ カバーをはずした状態で本体が作動する場合は保護スイッチの異常です。使用せずに販売店にご連絡ください。

ON/OFF スイッチ

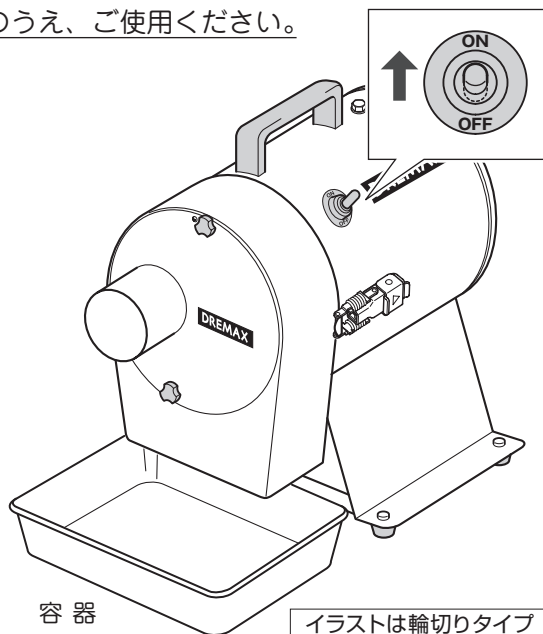


5 ON/OFF スイッチを「ON」にして食材をスライス・千切りします

※ネジやボルトがしっかりしまっているのをご確認のうえ、ご使用ください。

- ① カットした食材を受ける容器を投入口カバーの下に置いてください。
短時間で大量にスライスできますので少し大きめの容器を用意してください。
- ② ON/OFF スイッチを「ON」にします。
- ③ 投入口に食材を入れてカットしてください。

※それぞれの投入口タイプの項をご覧ください。



警告



接触禁止

押しのある物は必ず「押し」を使って食材を押し込んでください。
危険ですので投入口の中に手を入れて食材を押し込まないでください。
けがの原因になります。

千切りタイプ

カバーに千切りタイプ投入口をセットします

(セットのしかたは P4「正しい使い方」→ ③ を参照してください。)

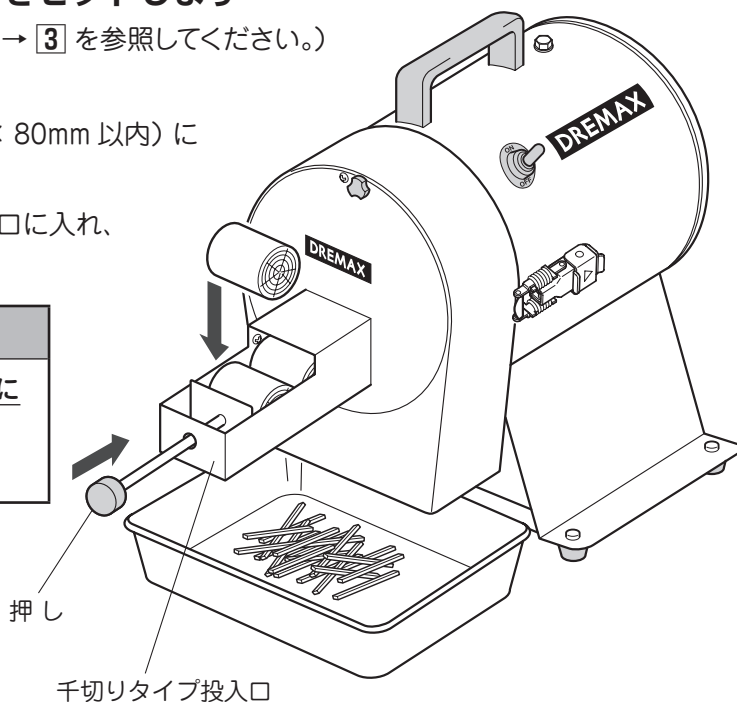
- ① 食材の下準備をします。
食材の皮をむき、投入口の幅 (80 × 80mm 以内) に入るようにカットしてください。
- ② 図のように、下準備した食材を投入口に入れ、「押し」で押し込んでください。

警告



接触禁止

危険ですので投入口には絶対に手を入れないでください。
けがの原因になります。



輪切りタイプ

カバーに輪切りタイプ投入口をセットします

(セットのしかたは P4「正しい使い方」→ ③ を参照してください。)

※ 輪切り投入口の大きさは $\phi 72$ と $\phi 100$ があります。お好みでお選びください。

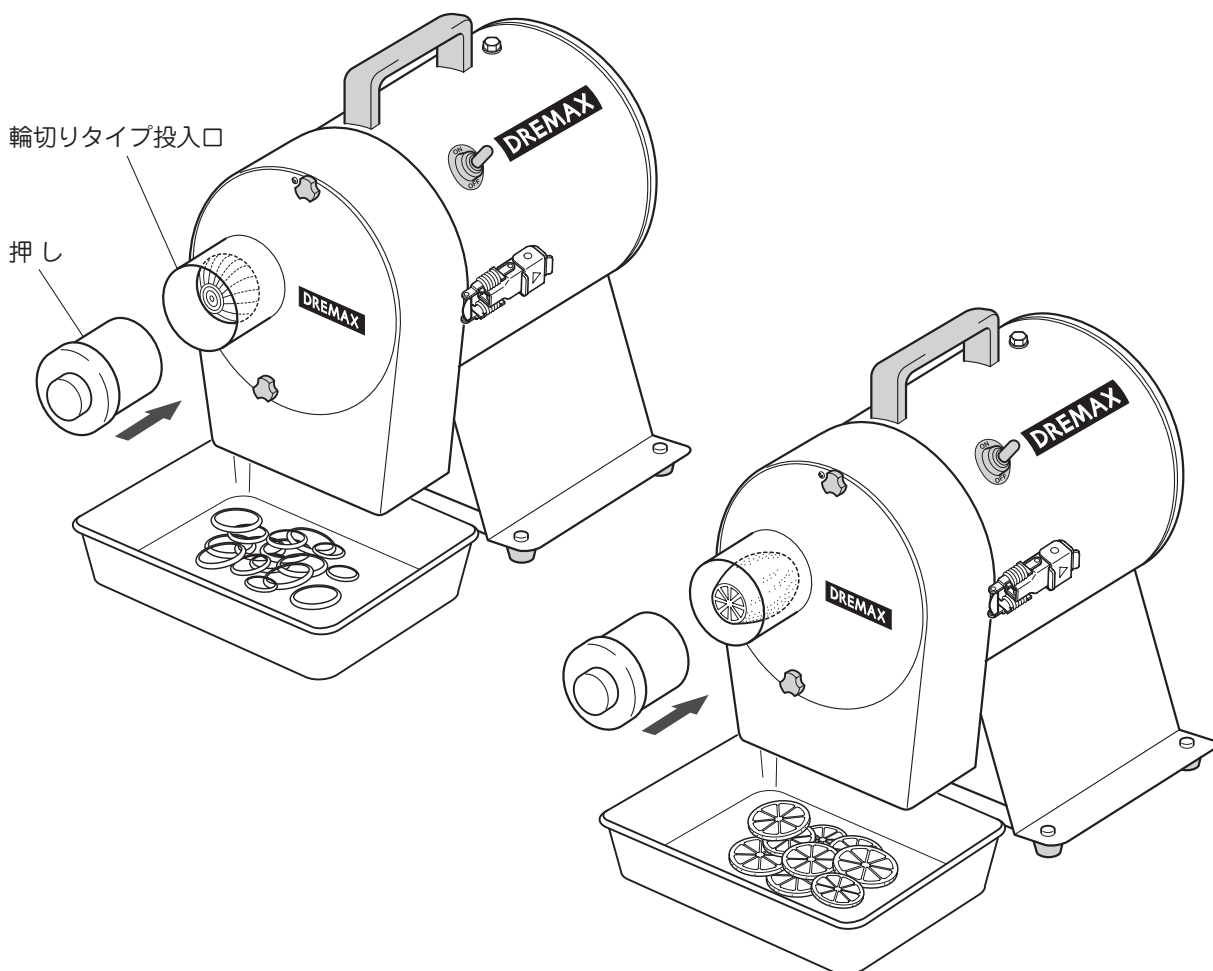
- ① 1 個目の食材を投入口に入れ、2 個目の食材で押し込んでスライスしてください。
- ② 2 個目の食材が投入口に入ったら 3 個目の食材で押し込み、順次スライスしてください。
- ③ 一番最後の食材は必ず「押し」を使って押し込んでください。

⚠ 警告



接触禁止

危険ですので投入口の中に手を入れて食材を押し込まないでください。
けがの原因になります。



斜め切り・斜め千切りタイプ

カバーに斜め切り・斜め千切りタイプ投入口をセットします

(セットのしかたは P4「正しい使い方」→ ③ を参照してください。)

※ 投入口の直径 41mm の場合、角度は 25°・30°・35°・40° があります。

お好みでお選びください。(5° 鋭角になると切れた食材の長さが 1～2cm 長くなります。)

- ① キュウリ等を投入口に入れてスライスしてください。
- ② 食材が短くなったら、次の食材で押し込み、一番最後の食材は自重で切るようにしてください。

警告



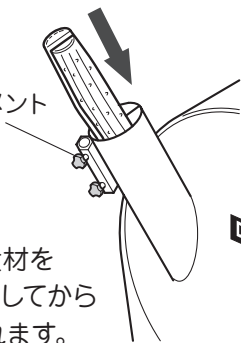
危険ですので投入口の中に手を入れて食材を押し込まないでください。

接触禁止

けがの原因になります。

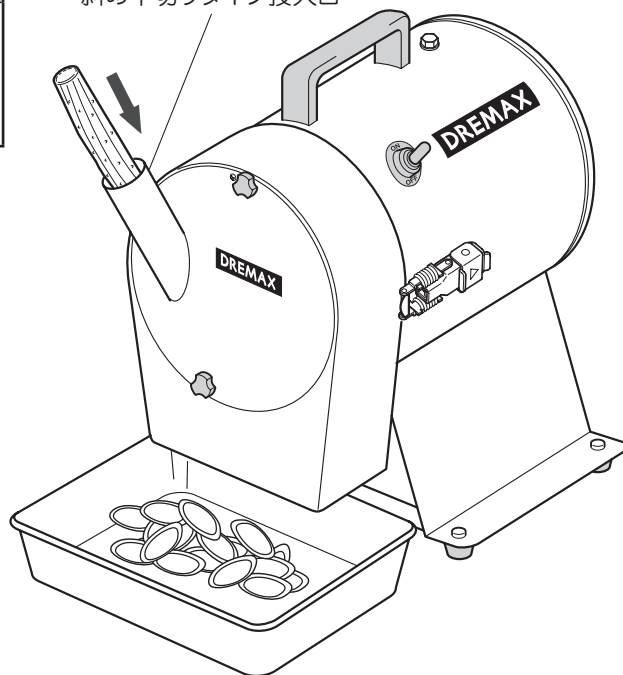
半月切りは、半月切りアタッチメント(オプション)を投入口に取り付けてご利用ください。

半月切りアタッチメント



※ あらかじめ食材を縦2つ割りにしてから投入口に入れます。

斜め切り・斜め千切りタイプ投入口



6 作業を終えたら ON/OFF スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜く

- ① ON/OFF スイッチを「OFF」にしてください。
- ② 機械が停止していることを確認し、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

警告



水濡れ禁止

濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。



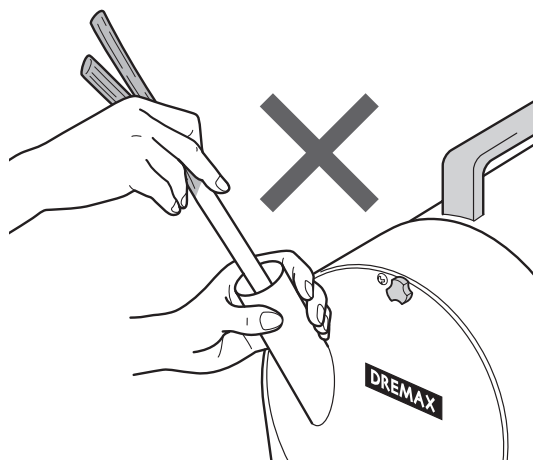
プラグを持つ

必ず、先端のプラグを持って電源コンセントから抜いてください。電源コードを引っ張ると破損・感電の原因になります。

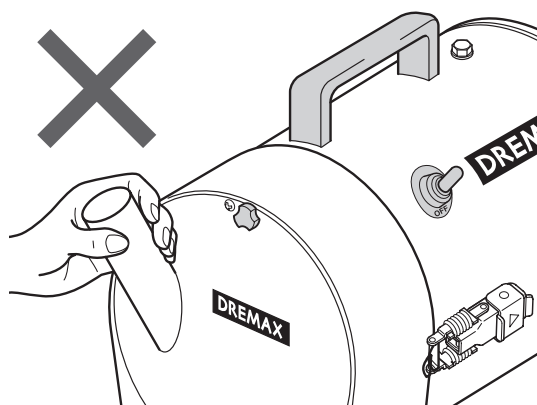
⚠ 食材を投入する際の注意 (各タイプ共通)



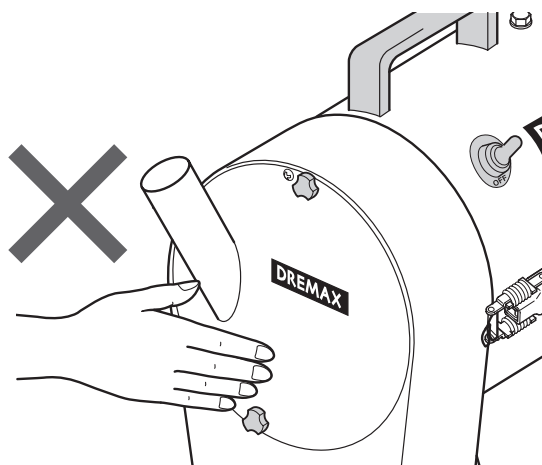
食材を投入口の筒に軽く入れます。
自重で落ちていきますので、強く押す必要はありません。



投入口の筒の部分を押さえないでください。
投入口内部が刃と接触し、破損の原因になります。



投入口の筒の部分の本体側に向かって押し付けないでください。
投入口内部が刃と接触し、破損の原因になります。



投入口の下部を押さないでください。
投入口内部が刃と接触し、破損の原因になります。

イラストは斜め切り・斜め千切りタイプ

≡≡ 厚み調整のしかた (スライス仕様のみ) ≡≡

※ 千切り・斜め千切り仕様の場合は、厚み調整はできません。
厚み調整をご希望の場合は、別途販売店にご相談ください。

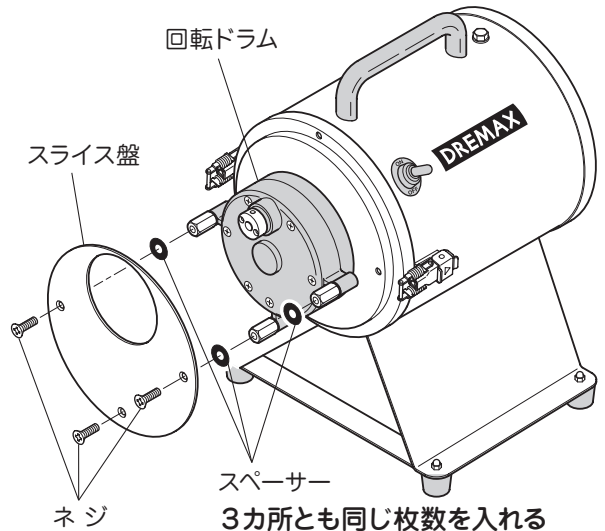
1 投入口カバーをはずす

※ 必ず、ON/OFF スイッチを「OFF」にし、電源プラグを電源コンセントから抜いておこなってください。
※ はずし方は P11「お手入れ方法」→ 1 を参照してください。

2 丸刃をはずす ※ はずし方は P11「お手入れ方法」→ 2 を参照してください。

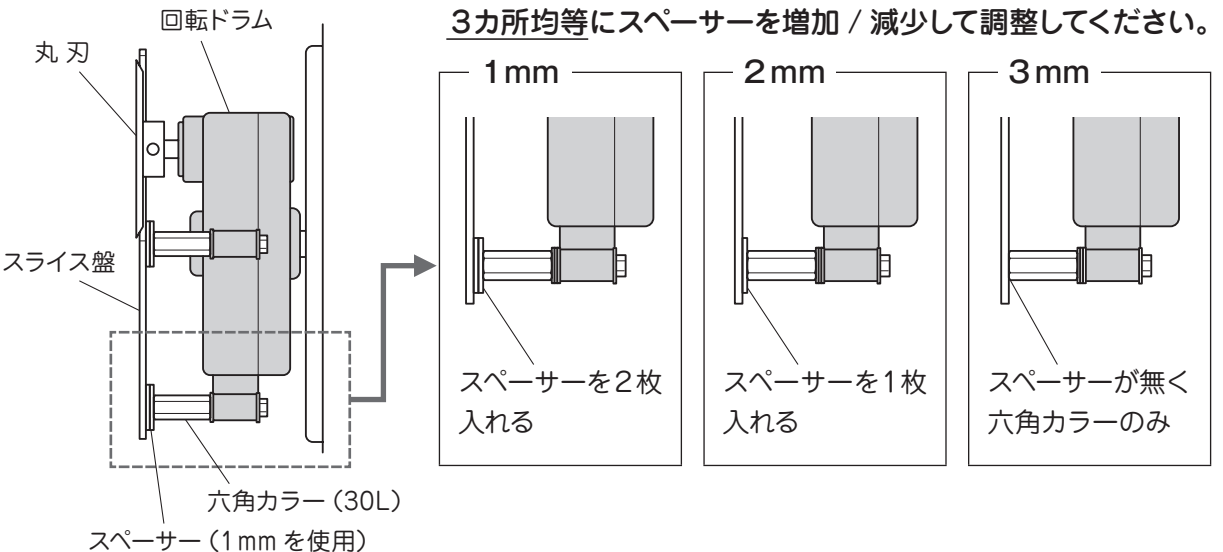
3 厚みを調整する ※ 初期設定はお客様により異なります。ご注文の時の厚さ設定をご確認ください。

- ① スライス盤のネジをゆるめ、はずします。
はずし方は P12「お手入れ方法」→ 3-①② を参照してください。
 - ② お好みの厚さになるように付属のスペーサーの枚数で調整します。
- ※ スペーサーは 3カ所すべてに同じ枚数を入れてください。

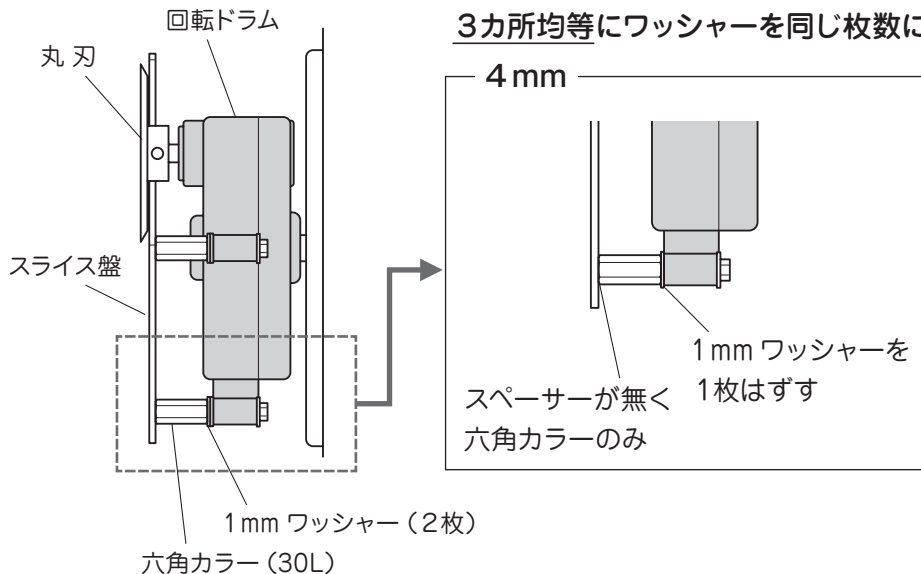


[オプションスペーサー]	
六角カラー (30L)	5mm スペーサー
六角カラー (23L)	1mm スペーサー

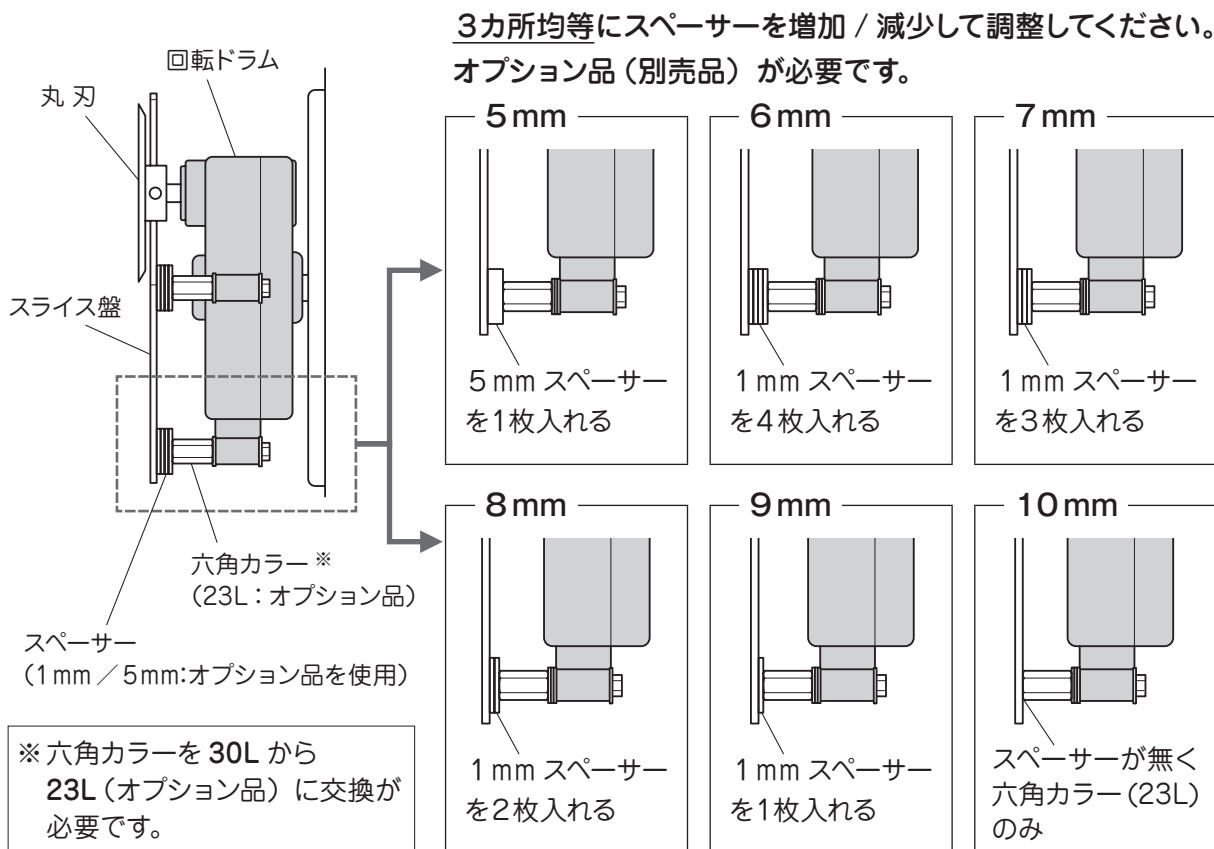
● 1mm ~ 3mm 厚にスライス設定する場合



●4mm厚にスライス設定する場合



●5mm～10mm厚にスライス設定する場合

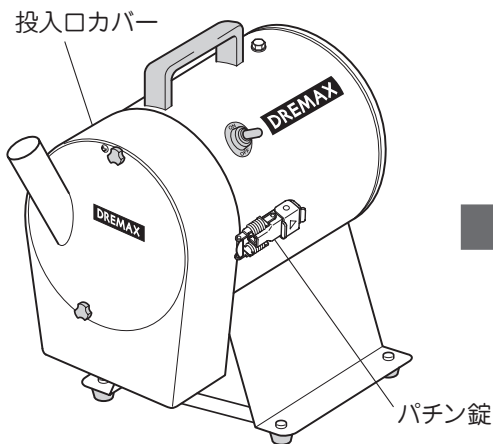


お手入れ方法

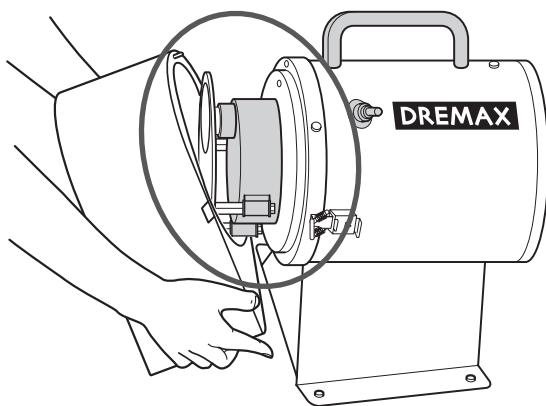
ご使用後は、付着した食材が乾く前に以下に記載の手順できれいに清掃してください。
食材の洗い残しが故障の原因になることがあります。
お手入れ不足が起因する故障の場合は有償修理となります。

1 投入口カバーをはずす

① 本体両側のパチン錠をはずします。



② 投入口カバーの上部からずらして、**刃物が投入口内部にあたらないよう目視で確認しながら**投入口カバーを取り外してください。



警告

イラストは斜め切り・斜め千切りタイプ



プラグを抜く

必ず、ON/OFF スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておこなってください。感電の恐れがあります。



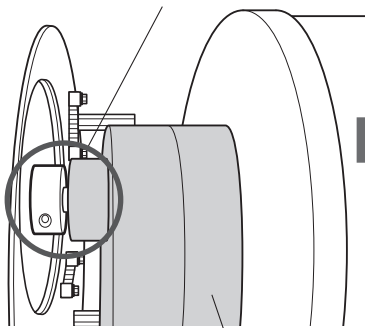
刃物注意

刃物が投入口内部に接触すると破損の原因になります。投入口カバーをはずす際は刃物に十分注意してください。

2 丸刃をはずす

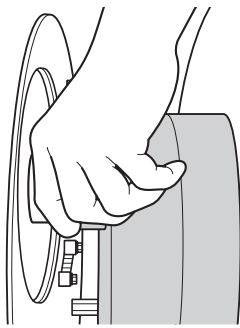
① 回転ドラムを手で回して丸刃取付カラーを上部に移動させます。

丸刃取付カバー

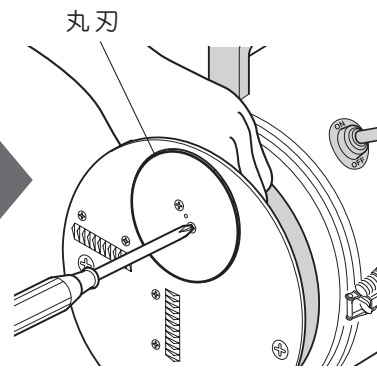


回転ドラム

② 回転部が回らないように丸刃取付カラーを手でしっかりと押さえてください。



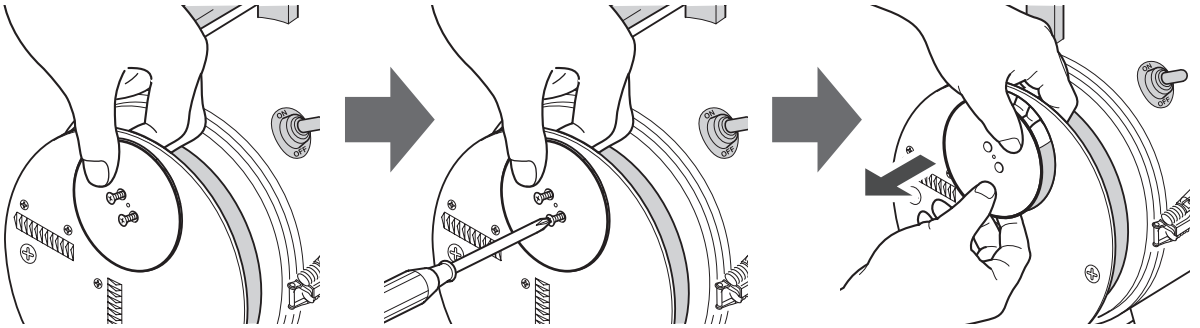
③ 付属のドライバーで丸刃のネジ2本をゆるめてください。



丸刃

次ページにつづく

- ④ 回転ドラムを押さえていた手で図のように丸刃をつかみ直してください。
- ⑤ 丸刃のネジ2本を完全に取り外してください。
- ⑥ 丸刃を手前にずらし、もう一方の手で丸刃を持って前方にはずしてください。



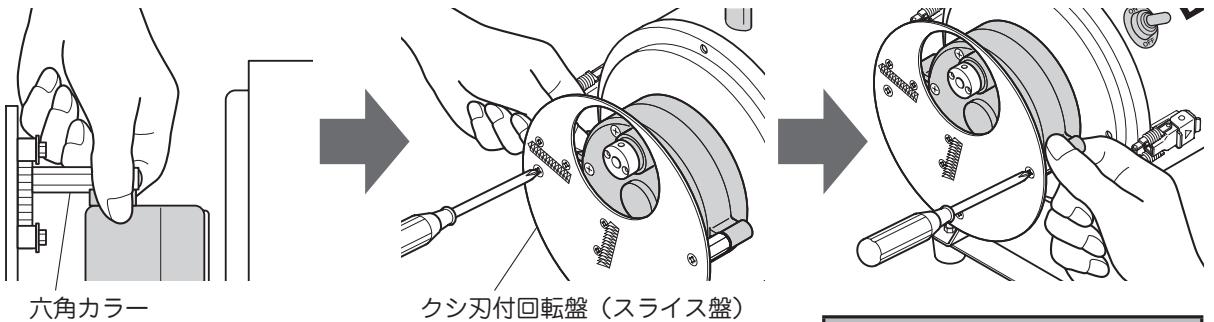
警告



丸刃を落とさないよう慎重におこなってください。刃が欠けたり、けがの原因になります。丸刃の取り扱いには十分注意してください。

3 クシ刃をはずす (※スライス仕様の場合は①②のみお読みください。)

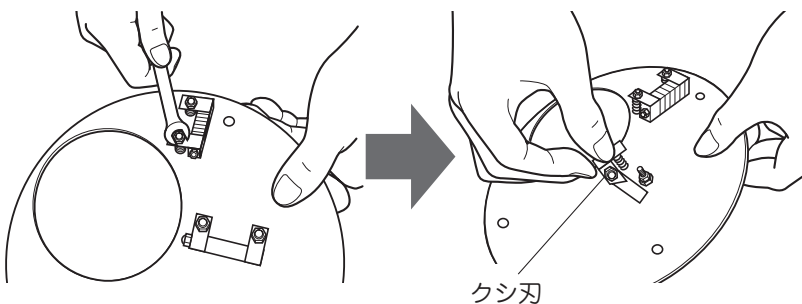
- ① クシ刃付回転盤 (スライス盤) を取り付けている六角カラーを手でしっかりと押さえます。
- ② 付属のドライバーでネジ A・B・C を取り外し、クシ刃付回転盤 (スライス盤) をはずしてください。(ネジ A・B・C の位置は P3「各部のなまえ」を参照してください。)



六角カラー

クシ刃付回転盤 (スライス盤)

- ③ クシ刃付回転盤の裏面からスパナでクシ刃を固定しているナットを取り外し、クシ刃をはずしてください。



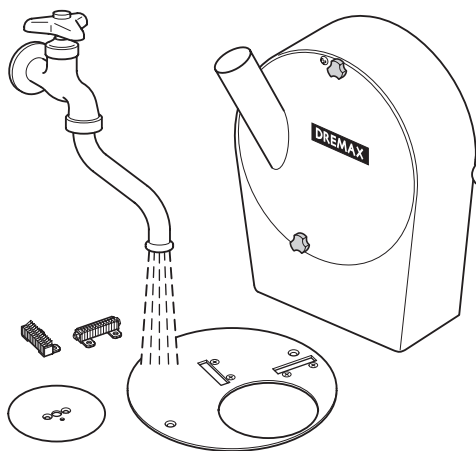
クシ刃

警告

取りはずしたクシ刃付回転盤は、柔らかい布などの上に置いてクシ刃をはずす作業をおこなってください。固いところに置いて作業すると、クシ刃を傷める恐れがあります。クシ刃の取り扱いには十分注意し、刃の部分には絶対に手を触れないでください。けがの原因になります。

4 はずした部品を洗浄する

- ① 取りはずした投入口カバー、クシ刃付回転盤 / スライス盤、丸刃、クシ刃は汚れを取り除き、水洗いしてください。
- ② 洗浄後は、水気をよく拭き取ってください。
- ③ 次ページ「刃物交換時期の目安」を参照して刃物の状態を確認してください。



警告

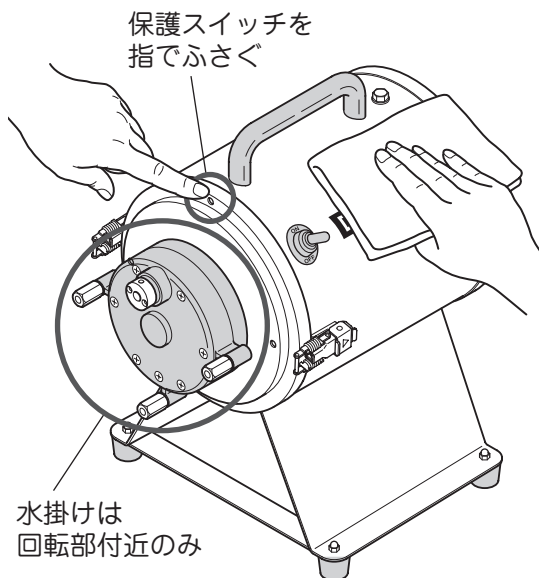


危険ですので、**素手で刃物を洗わないでください。**けがの原因になります。

刃物注意

5 本体を清掃する

- ① 水や食材のカス、汚れが入らないように**保護スイッチを指でしっかり押さえて、回転部付近に上から水を掛けて洗浄してください。**
- ② 本体部は、きつく絞った濡れ布巾などで汚れを拭き取ってください。
- ② 洗浄後は、水気をよく拭き取ってください。



注意



強制

保護スイッチの周囲に付着した水や食材のカス、汚れはすぐに拭き取ってください。故障の原因になります。



水濡れ禁止

本体の下方向から水を掛けたり、機械を水の中に浸して洗うことは絶対にしないでください。水が本体に入ると故障の原因になります。



強制

お手入れの際は、落下、転倒などに十分注意してください。破損、故障、けがの原因になります。

6 はずした部品を本体に取り付ける

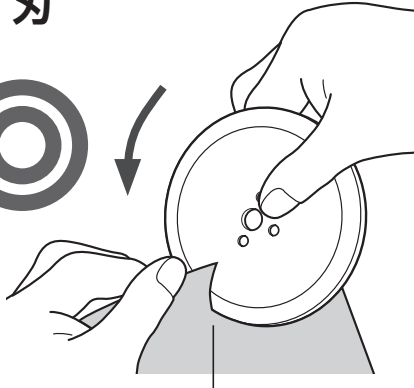
- ◎ 投入口カバー、丸刃、クシ刃付回転盤 / スライス盤、クシ刃を取り外しの逆手順 (③ ~ ① の手順) で本体に取り付けてください。

丸刃・クシ刃の交換について

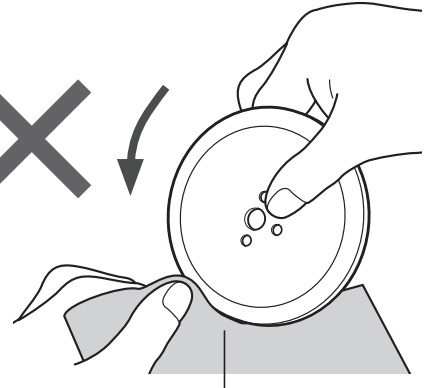
お手入れで丸刃・クシ刃をはずした際、刃の状態を確認してください。

刃物交換時期の目安

丸刃



刃先がスムーズに入る



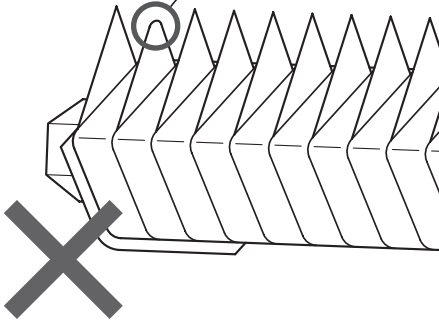
刃先が入らない

紙で試し切りをしてください。丸刃を回しながら紙を切ってみて、刃が紙にスムーズに入り込んでいかない場合は切れ味が落ちています。

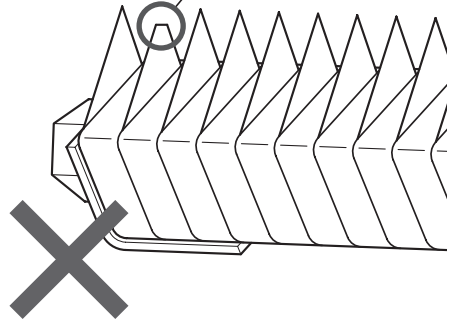
付属の丸刃研ぎ器で研いでも切れ味が良くならない場合は、新しい丸刃（別売品）に交換するか、当社に研磨に出してください。（P15「丸刃の研ぎ方」を参照）

クシ刃

丸くなっている



欠けている



クシ刃の刃先が丸くなる、もしくは刃先が欠けている場合は、新しいクシ刃（別売品）に交換してください。

交換のための丸刃・クシ刃の取り外し / 取り付けの方法は P11「お手入れ方法」→ ①・②・③ を参照しておこなってください。

交換用の丸刃・クシ刃（別売品）のご注文、丸刃の研磨のご依頼につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。

丸刃の研ぎ方

切れ味が悪くなった場合、付属の丸刃研ぎ器を使用して丸刃を研いてください。

1 本体から丸刃をはずす

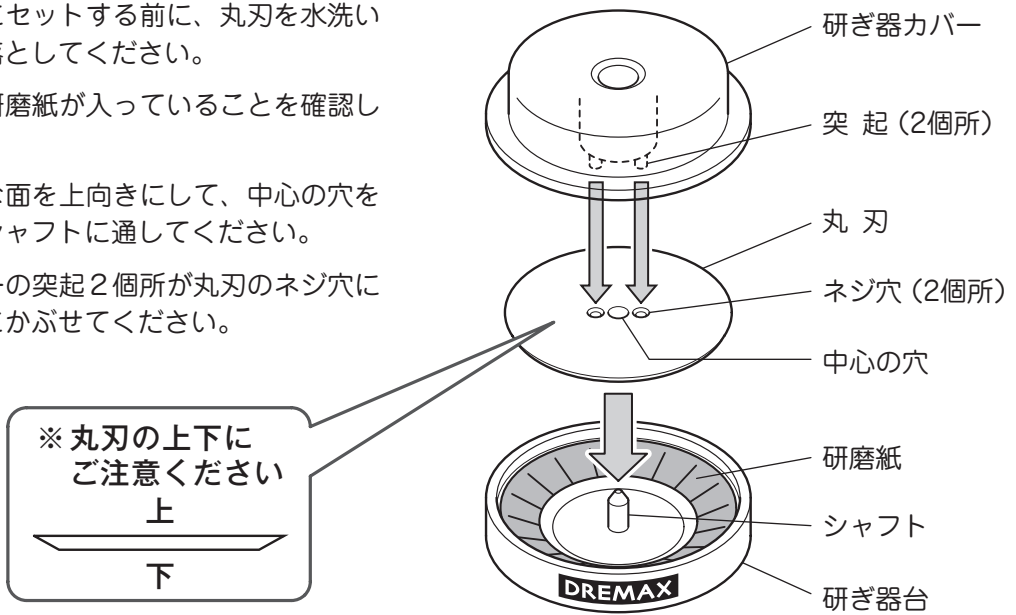
※ はずし方は P11「お手入れ方法」→ ①・② を参照してください。

2 丸刃研ぎ器に丸刃をセットする

※ 丸刃研ぎ器にセットする前に、丸刃を水洗いして汚れを落としてください。

※ 研ぎ器台に研磨紙が入っていることを確認してください。

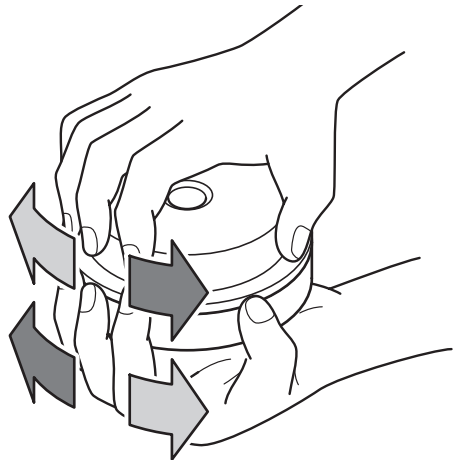
- ① 丸刃の平らな面を上向きにして、中心の穴を研ぎ器台のシャフトに通してください。
- ② 研ぎ器カバーの突起2個所が丸刃のネジ穴にはまるようにかがせてください。



3 研ぎ器台と研ぎ器カバーを逆方向に往復回転させる

◎ 図のように丸刃研ぎ器を持ち、研ぎ器台と研ぎ器カバーを逆方向に往復回転させて丸刃を研いてください。

※ 軽く2～3回の往復回転で切れ味が良くなります。



※ 別売り研磨紙セットもございます。

警告

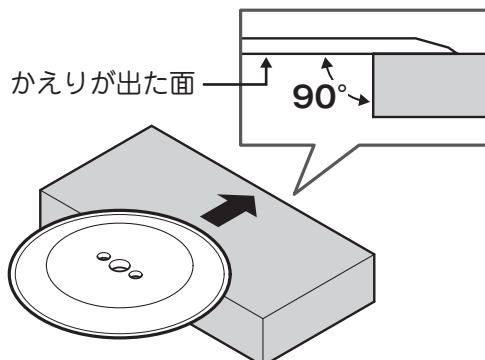


研ぎすぎると切れ味が低下しますので
ご注意ください。

強制

4 かえりが出た場合

- ◎ 丸刃の上面（平らな面）にかえりが出た場合は、砥石でとって下さい。



⚠ 注意



研ぎ方を誤り、両刃になってしまいますと、まったく切れなくなりますのでご注意ください。

5 丸刃を洗って、本体に取り付ける

⚠ 注意



研いだ丸刃は取り付ける前に必ず、水洗いしてください。洗わずに使用すると、異物混入の原因になります。

⚠ 警告



丸刃は鋭利な刃物です。取り扱いには十分ご注意ください。丸刃を落とさないよう慎重におこなってください。刃が欠けたり、けがの原因になります。

－丸刃の交換について－

丸刃を丸刃研ぎ器で研いでも切れ味が良くならない場合、当社に丸刃をお送りいただければ有償にて研磨いたします。刃が欠けてしまった場合は、新しい丸刃（別売品）と交換してください。

（刃物は保証対象外とさせていただきます。最終ページ『保証とアフターサービス』をご覧ください。）

くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕 様

機 械 寸 法	W330 × L470 × H460 (mm)
電 動 機	単相 100V 100W
重 量	20 kg
使 用 時 間	連続
処 理 能 力	毎時 50 ~ 100 kg
処 理 サ イ ズ	スライス：1.0 ~ 10.0 mm ※5.0 ~ 10.0 mm は特注 千切り：3.0 × 3.0 mm (標準) ※厚みは最大 3.0 mm まで ※幅 (クシ刃のサイズ) は 1.2 mm 以上特可能
外 装	SUS 304 ステンレス製
投 入 口	斜め切り投入口：φ 41 (25°、30°、35°、40°)、 φ 60 (30°)、φ 83 (30°) スライス投入口：φ 83 (30°)、φ 60 (30°)、 (斜め太投入口) 千切り投入口：80 × 80 mm 輪切り投入口：φ 72、φ 100
付 属 品	丸刃研ぎ器、ドライバー、六角レンチ

..... MEMO

保証とアフターサービス

よくお読みください

使い方・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

お買い求め先

電 話

お買い上げ日 年 月 日

●保証期間中は、下記の規定に従ってお買い求め先が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から 本体1年間

1. 保証規定

- ① 本製品の保証期間はご購入日より1年間とさせていただきます。保証期間内で取扱説明書に従い、通常のご使用状態において、製造上の不備に起因する不具合について保証いたします。
- ② 本保証は日本国内においてのみ有効となります。
- ③ 本製品の故障などに起因する二次的な災害（他の機械の破損など）・損失については一切責任を負いかねますのでご了承ください。

保証書は必ず『お買い上げ日・販売店名』等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間はお買い上げから1年間です。

2. 修理を依頼される時

「おかしいな？」と思ったら、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証期間中は……

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書（取扱説明書）を添えてご持参ください。

保証期間が過ぎているときは……

お買い上げの販売店へご依頼ください。
修理すればご使用になれる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは

「取扱説明書」でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い求め先へご連絡ください。

製品名 マルチスライサー

品番 DX-1000

故障の状況 できるだけ具体的に

愛情点検

長年のご使用のためマルチスライサーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか？	ご使用中に電源コード・電源プラグが異常に熱くなる。
	電源コードを曲げると通電したり、しなかったりする。
	いつもより異常に音、振動が大きくなる。
	その他異常、故障がある。

ご使用にならないでください。

故障や事故防止のため ON/OFF スイッチを「OFF」にし、電源コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。
点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

安全に関するご注意

- ご使用前に【取扱説明書】をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
 - 取り扱いを誤りますと火災や事故の原因となります。
※保証期間中であっても、次の場合は有料になりますので、ご注意ください。
- (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造（P2「安全上のご注意」警告事項参照）による故障および損傷。
 - (2) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (3) 火災・地震・風水害・落雷その他天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (4) 消耗品（丸刃・クシ刃・駆動部品）および消耗による故障（投入口カバー）。
 - (5) 清掃不足による故障

保証書

型式 マルチスライサー DX-1000				
お客様	お名前	ふりがな	保証期間 1年	お買い上げ日
	ご住所	〒□□□□-□□□□	販売店	年 月 日から
		お電話	店名	
			電話	

株式会社ドリマックス

〒332-0035 埼玉県川口市西青木 3-3-9 ドリマックスビル

TEL: 048-254-1231 FAX: 048-254-1331

URL <http://www.dremax.com>

注) 製品は改良のため予告なく仕様、デザインを変更することがあります。

検査証	
出荷責任者	製造責任者

2021.01